

企画展

「石川丈山 一家康の近侍から文人へ」

会期：2026年4月11日(土)～7月5日(日)

観覧料：無料

郷土の偉人である石川丈山は、天正11年(1583)に現在の安城市和泉町で生まれました。家系は代々徳川家康の家系に仕える一族でした。丈山自身も家康の家臣となりましたが、元和元年(1615)、大坂夏の陣で軍令違反を犯したことを機に武士の身分を捨てました。丈山は、家康について京都伏見から禅に関心がありましたが、退隠後に友人の朱子学者林羅山の勧めで羅山の師藤原惺窩と出会い、朱子学を研鑽し詩や書をたしなみ学問に専心する余生を京都で過ごしました。

こうした丈山の生き方は、武士で身を立てるだけが成功ではない例として後世にも影響を与え、幕末以降、都築弥厚一族など郷土を同じくする人々による顕彰が活発に行われてきました。そうした丈山の生涯を当館収蔵の資料を中心に展示し、逸話などを交えて丈山の魅力に迫ります。



「海福」石川丈山筆(本館蔵)

特別展「あこがれの黒髪 一結う・切る・守る 日本人と髪の世界史」

会期：2026年7月25日(土)～9月13日(日)

観覧料：一般 600 円 / 中学生以下無料

古代から現在にいたるまで美しい黒髪を維持するために人々は、食事や日常生活に配慮するなど様々な努力を行ってきました。また、江戸期以降結髪文化が花開き、男女ともに時代の流行を反映した多種多様な髪型が生まれました。明治維新後は男性は断髪令によって「散切頭」となり、大正・昭和期には女性も従来の日本髪だけでなく、パーマや断髪などの髪型も出現し、髪は個性を示す手段となりました。

今回の特別展では、今も昔も人々の関心事であった髪にまつわる歴史を、髪型や髪飾り、髪のお手入れの変遷などを本市所蔵資料も含め紹介していきます。



大日本婦人束髪図解(本館蔵)

2026年度下半期の展示

特別展 「安城譜代3 三河内藤一族」

会期：2026年10月3日(土)～11月15日(日)

特別展 「葬送のかたち」

会期：2026年12月5日(土)～2027年1月24日(日)

歴史博物館常設展

観覧料：一般 200 円 / 中学生以下無料

「大地に息衝く人々のくらしと文化」を主題に、安城の歴史の流れを10テーマに分けて紹介。



国指定重要文化財 人面文壺形土器

常設展・企画展の展示休止のお知らせ

施設修繕のため、下記期間の常設展・企画展の展示を休止します。詳細はホームページ等にてご案内します。

2027年2月～3月(予定)

利用案内

- [常設展観覧料] 個人 200 円(中学生以下無料)・団体(20人以上)160 円 障がい者手帳等お持ちの方及び同伴者1名様 100 円
[開館時間] 9:00～17:00(入館は16:30まで)
[休館日] 毎週月曜日(祝日の場合は開館)・年末年始(12/28～1/4)

交通案内

- 名鉄西尾線南安城駅より東へ徒歩15分
●JR東海道本線安城駅より、あくるバス(1番系統安祥線)川島行き10分
●JR東海道新幹線三河安城駅よりタクシー20分
●無料駐車場(230台収容)あり



安城市歴史博物館HP

住所 / 〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀 30 番地

電話 / 0566-77-6655 FAX/0566-77-6600

https://ansyobunka.jp/

安城市歴史博物館



安城市歴史博物館

催し物案内

2026.4-2026.9

ANJO CITY MUSEUM OF HISTORY



石川丈山像 富岡鉄斎筆(本館蔵)